



# CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!

押してね😊

2023.09.01 第41号 シンガポールにおける教育事情

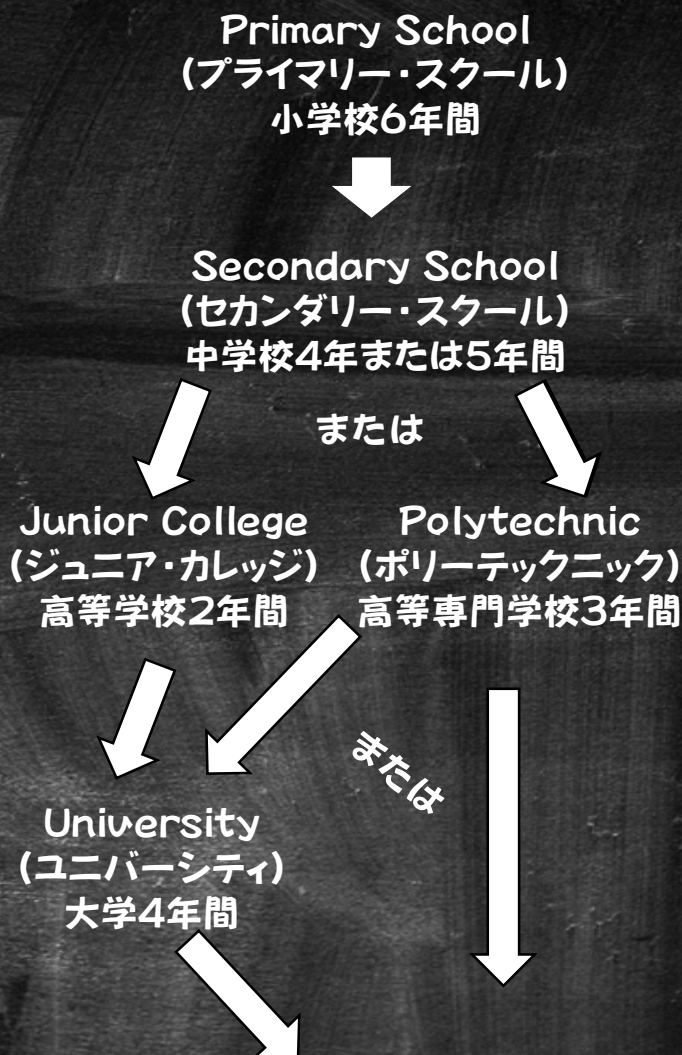
## 背景

シンガポールの人口は約560万人で、面積が旭川市と同じぐらいの都市国家です。国立教育政策研究所の「OECD（経済協力開発機構）が3年に1度実施する、生徒の学習到達度調査（PISA）」によると、シンガポールは2012年から3回連続、全ての調査項目（読解力・数学・科学）でトップ3にランクインしました。

そのような高い教育水準を維持するため、政府はどのような政策に取り組んでいるのかシンガポール教育の特徴について紹介したいと思います～

シンガポールの教育制度はイギリス植民地時代の影響を大きく受けています。イギリス英語はもちろん、進学制度や教育機関の名称もイギリスの教育制度とほぼ同じですよ～♪

## シンガポールの教育制度



就職  
おめでとう!

シンガポールは  
天然資源が少ない国な  
ので、最も大事なのが  
「人材」です。そのた  
め、教育に関することは  
競争が激しいですよ。







# CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・  
国際協力・国際観光・多文化・  
相互理解と友好を図る



Facebook page :  
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!  
押してね😊

2023.09.01 第41号 シンガポールにおける教育事情

## シンガポールは何語を話しますか？

日本に来て、よくある質問は「シンガポールではシンガポール語ですか？」です。実は「シンガポール語」という言語は存在しないです。シンガポール人は英語と自分の母語（民族言語）を話せます。つまり、シンガポール人はバイリンガルなんです。

## バイリンガルってなに？

そもそも英語のバイ(bi)は「2つ」という意味があるのです。例えばbicycle(自転車)やbinoculars(双眼鏡)などです。バイリンガルとは2か国語を書ける、話せる人を指しています。

## 言語2つ以上は当たり前！

シンガポールは1960年に第二言語の勉強を小学校から必須科目とすることになり、1966年に中学校でも同じように必須科目とすることになりました。

シンガポールは独立したばかりの時、中華系、マレー系とインド系、主に3つの民族がいました。母語としては基本的に中華系の人は中国語、マレー系の人はマレー語、インド系の人はタミル語です。

## 英語が公用語、母語は民族言語

独立当時の総理大臣「リー・クアンユー(Lee Kuan Yew)」はスピーチでバイリンガル教育の重要性についてこのように発表しました。「英語はビジネスや外交に関するコミュニケーションに有利であり、母語は自分の民族のアイデンティティが失われないよう意識させるために重要です。」



シンガポールでは小学校1年生からバイリンガル教育を義務として受けなければならないが、ほとんどの子どもは幼稚園からスタート。

引用

<https://www.mindchamps.org/blog/15-things-preschool-teachers-singapore-do/>



英語は公用語として使いながら、自分の母語や民族のルーツなどを保つことができる。

引用

<https://www.prischew.com/sports/running/racial-harmony-singapore/>